

JTTRI-AIRO 開設記念シンポジウム

「コロナ後」に挑む観光の変革

～日タイ両国は質の高い観光に向けどのように取り組んでいくべきか～

宿利会長開会挨拶

皆さま、こんにちは。運輸総合研究所（JTTRI）会長の宿利正史です。

本日は、タイ王国観光・スポーツ省及び在タイ日本国大使館のご後援を得て、運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所開設記念シンポジウム「『コロナ後』に挑む観光の変革」を開催できますことを大変嬉しく思います。

まず初めに、本日のシンポジウムの開催のために多大なご支援・ご協力を賜りましたタイ王国 ピパット 観光・スポーツ大臣閣下 並びに 梨田 日本国特命全権大使閣下 及び 大場 在タイ日本国大使館次席公使、並びに、本日特別講演をいただきますモンコン 観光・スポーツ省次官補 及び 水嶋 国土交通省国土交通審議官に心から感謝申し上げます。

また、本日のパネルディスカッションにご参加いただく
デュタマート Perfect Link Consulting Group 代表、
パッタラアノン タイ国政府観光庁理事、
スティポン タイ観光協会 副会長、
中山 日本政府観光局 理事 及び
沢登 （株）リクルート じゃらんリサーチセンター センター長
をはじめ、お忙しい中、本シンポジウムの会場まで足をお運びい

ただいた皆さま、オンラインでご視聴いただいている皆さまに、厚く御礼申し上げます。

タイ王国と日本は、600年を超える交流の歴史を有し、政治・外交、経済・貿易、文化・観光など、幅広い分野において深い友好関係を築いてきました。ASEANの中心に位置し、周辺諸国を牽引する立場であるタイ王国と日本との関係は、自由で開かれたインド太平洋の実現という観点からも、近年ますます重要なものとなっております。

一方、2020年初からのCOVID-19のパンデミックと昨年2月のロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、世界の社会・経済に大きな影響を与え、さらに冷戦後の国際秩序を脅かすに至っています。

このように全世界的に不確実性や対立が深まる中においては、重層的かつ広範にわたる人的交流が従来にも増して重要であり、観光はそれを実現する大きな鍵を握っています。

また、地域社会の活性化や雇用の拡大などの社会的・経済的な観点からも、観光は引き続き成長が期待できる、大きな潜在力を有する分野です。

3年に及んだコロナ禍を経て、ようやく「コロナ後」となった今こそ、観光が新たなステージを目指してその第一歩を踏み出す絶好の機会です。コロナ後の観光及び観光産業を復興し、同時に観光の新たな展開を目指さなければなりません。

このためのタイ・日両国の取組についてお互いに理解を深めるとともに、持続可能性に配慮した質の高い観光を実現するために克服しなければならない課題について議論することを通じて、両国の観光の発展に向けて観光分野における連携・協働関係をさらに深めていきたいと考えております。

観光分野の脱炭素や地域住民の生活との調和などの課題にしっかりと対応した「持続可能な観光」・「責任ある観光」の実現を図る「質の高い観光」を目指し、今後タイ・日両国が取組を進める上で、本日のシンポジウムがいくばくかの貢献につながるならば、主催者として大きな喜びであります。

最後になりますが、本シンポジウムを主催する運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所（AIRO）は、運輸・観光分野の日本の政策シンクタンクである運輸総合研究所の2箇所目の海外拠点として、2021年4月にタイ王国バンコクに開設され、まもなく2年目を終えようとするところです。

運輸総合研究所及びAIROとしては、タイ王国の皆様との運輸・観光分野における地に足のついた連携・協働を通じて、タイ王国と日本の観光が発展し、また、両国の絆がより一層深まるよう努力いたしますので、今後ともタイ・日両国の皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私からのご挨拶といたします。

本日は、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。